

ねりま父母連ニュース No. 60

保育園の父母の交流と保護者の願いを実現するために

発行：2023年11月
練馬区保育園父母連協会
事務局長：満川知代
neri_fubo@yahoo.co.jp

第二子も無償化実現！ 保育の質が課題。子ども犠牲の閉園はノー！

保護者の声を背景に、幼児保育は2019年(令和元年)から保育料無償化がはじまりました。今年10月からは、第二子についても無償化が実現しました。練馬父母連は、保育料の値上が計画された時から、「保育料の値上はやめて完全無償化を！」と区に働きかけてきました。長い間、父母連が求めてきたことが実現したことになります。

保育園の状況と情報交換のための「シンポジウム」(トーク集会)を開催します！

各地で送迎バスでの園児の事故や保育士による虐待事件など、保育園をめぐる事故や事件が続いています。練馬でも5年前に無認可施設で死亡事故が発生。それらの施設で共通している事は、どこも父母会が無い事です。それは偶然ではありません。保護者が保育の質に注視して、声を上げていくことは、子どもの命を守るうえでも大切です。いま練馬区は、保育園を閉園し、委託園を公的責任から外す民営化を進めるとしています。

区は「待機児童ゼロ達成」と盛んに言っていますが、兄弟で同じ園を希望する家庭や認可保育園以外の施設でも入所すれば待機児とみなさないなど、[保育の質]につながる問題が新たに発生しています。

また、いくつもの施設を見学して「ここは安心できる」と思い入園したものの、「閉園」を告げられ、求めた説明会も開催しないなど、強引な区のすすめ方にも批判の声があがっています。

子どもに犠牲を強いる施策に、保護者は何もできないのでしょうか？ 子どもを守るために何をすればよいのでしょうか。

保育園で起きている事について情報交換しませんか(ノ)

子どもたちの環境と保育の質を守る[シンポジウム(トーク集会)]を開催します。

子どもたちを守るために、みんなで情報交換して、知恵を出し合いませんか。

◆日時=2023年11月26日(日)

午前9時40分から

◆場所=練馬区男女共同参画センターえーる

(石神井公園駅から徒歩5分)

◆テーマ=①閉園から子どもを守るために

②民間委託を目前に不安なこと

③保護者が声をあげる大切さー父母会活動

④保育の質を考える

⑤練馬と東京都の保育施策の特徴

★保育室を設ける予定。



練馬父母連に参加して、子どものために、と一緒に声をあげましょう！

[父母連とは]ー練馬区保育園父母連協会の略称で、一つの保育園父母会では保護者と子どもの声が届かない問題について、力を合わせて行政に声を届けています。

<これまで父母連が実現した成果> ・認可保育園の増設、・保育料の無償化(幼児クラス)、・コロナ禍での保育園の消毒液と検温器の設置、・園職員への奨励金支給の働きかけ[実現]、・冷暖房装置等環境整備、・入園相談と区への要望、・希望者のいる園での延長保育の実施、・父母会活動への援助や情報提供、等。

父母連への加盟は、園の父母会単位が基本ですが、個人加盟(加盟費1000円)も大歓迎です。

子ども達のために一緒に声をあげていきませんか。興味・関心のある方はぜひ父母連宛にメールください。

【問い合わせ先】 neri_fubo@yahoo.co.jp 父母連事務局

「子ども達にもう一人保育士を！」— 全国保護者アンケートにご協力ください。

保育士の「配置基準」を改めて、「もう一人の保育士を」という声が広がっています。保育園(卒園児含む)の保護者を対象にしたアンケート運動に取り組んでいます。下記のチラシにあるQRコードから回答できます。ご協力をお願いします。

全国保護者アンケートにご協力ください

子どもたちにもう1人保育士を！

70年以変わらない保育士配置基準の改善をめざして



日本の保育士配置基準は0歳児は子ども3人につき保育士1人、1・2歳児では6人に1人、3歳児は20人に1人、4・5歳児では30人に1人です。4・5歳児の基準については70年以上も変わっていません(左下表参照)。この基準のままでは、すべての子どもたちに、のびのびとした保育園生活と、そのなかでの発達に沿った保育を保障することは困難です。それどころか当たり前に保障されるべき安全な保育をすることすらままならない状況です(右下アンケート結果参照)。

このような状況を改善したいと愛知県では2021年末に「子どもたちにもう1人保育士を！」を合言葉に実行委員会を立ち上げ、子どもたちが豊かに過ごす保育を実現するため、保育者と保護者がともに手を取り合って「配置基準改善」を求める活動を続けています。

さらにこの運動を発展させるため、このたび、「全国保護者実行委員会」を発足し、全国の保護者に向けてアンケートを実施することとなりました。

現在の配置基準での保育について、保護者の声を国や自治体に届けることを目的にこのアンケートに取り組みます。一人でも多くの保護者の声を束ねて世の中に発信していきたいと思っておりますのでご協力をお願いいたします。



▼アンケートはこちらから▼



Google Form
で回答できます

【URL】

<http://bit.ly/3WnWX6A>

日本の保育士配置基準の変遷



配置基準とは

保育士1人がみる子どもの数を定めた国の最低基準のこと。4・5歳児は保育士1人につき子ども30人が国の基準です。

保育者アンケートの結果から

『国の保育士配置基準では、子どもの命と安全を守れない』
と思う場面を選んでください。(あてはまるすべてを選択)



保育士2,648人が回答

- 地震・火災など災害時… 84%
- 防犯上…………… 59%
- 食事の場面…………… 35%
- 午睡時…………… 23%
- プールなど水遊び…………… 58%
- お散歩…………… 60%
- 園庭・室内での活動…………… 33%
- 早朝夕刻の保育…………… 43%
- その他…………… 3%
- 未回答・不明…………… 5%

食事の場面や
お散歩でも?
普通の生活
じゃないの!



子どもたちにもう1人保育士を!~70年以上変わらない保育士配置基準を考えるアンケート~
集計結果の最終報告より引用